

令和 7 年度官民連携による避難所運営の質の向上強化事業

官民連携による避難所運営の質の向上強化事業 ～多様性配慮の避難所運営訓練～

一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

青森市で取り組んだ「避難所運営マニュアル実証訓練」を紹介します

青森市の改訂中の避難所運営マニュアルを実際の現場で「使ってみる」ことを目的に、自治体職員、地域住民、自主防災組織、防災士、民間団体が連携し、事前研修から実証訓練、ふりかえりまで一連のプロセスを通じて実施した。

その結果、本事業は「避難所運営の質の向上」を、設備や物資の問題だけでなく、人・関係性・配慮のあり方として捉え直す機会となった。地域、市役所関係部局、当法人が連携し、実践を通じて得られた知見をマニュアルに反映し、さらに地域に還元していくこのプロセスは、他自治体にとっても有効なモデルとなり得る。今後は、本訓練で得られた成果を踏まえ、避難所運営マニュアルの実効性向上と、地域主体の避難所運営力の底上げを継続的に図っていくことが期待される。

事前研修会（2回）

町内連合会、青森市、NPO（男女共同参画地域みらいねっと）合同研修会



第1回事前研修会
・顔合わせ、事業説明など



第2回事前研修会
・実証訓練に向けてのワークショップ

避難所運営マニュアル実証訓練



運営委員会による準備・打ち合わせ



訓練は準備が大切。運営委員で防災資機材や物資を各エリアに配置



訓練スタート。運営委員長挨拶



訓練の前には、「男女共同参画の視点」を取り入れた避難所運営の必要性の理解につながる講話



訓練スタート。発災から避難行動開始。避難所へ



避難所の開設と同時に避難者の受付開始。



避難者の中には要配慮者も。初動においても要配慮者のスペースを設置。



この後の班別訓練に向けて、班分け。希望をとり、そののち調整。（人数及び性別のバランスを図る）



施設管理班:寝床スペースの設置（段ボールベッドと段ボールパーテーションの設置）



総務情報班:食堂兼談話室、情報掲示板の設置



介護班：足の不自由な高齢者のスペースづくり



乳幼児班：子どもの遊び場スペースも設置。乳幼児世帯の居住スペースの他にも、授乳室、ミルクルーム、おむつ交換室、妊産婦室なども設置。



各スペースが完成後は、各班から実施内容及び工夫した点の紹介



介護班：福祉用トイレも設置。車いすでも利用できます。



食料物資班：作るだけではなく、衛生面や配食の動線、ごみの処理などにも取り組む



介護班：足の不自由な高齢者のスペースづくり

ふりかりワークショップ・市職員とのふりかえり



ふりかえりワークショップでは、運営委員だけではなく、市職員もいっしょにふりかえり



実証訓練を終えて、青森市の避難所運営マニュアルにどのように反映するか検討中